（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所　みのりの家

公表日　令和7年　2月　26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・個室が５部屋あり、各児童の特性や状況、また活動の内容に応じて使い分けています。 ・うち１部屋を課題専用室として、間仕切りした机・椅子を７セット設置して落ち着いて課題や作業ができるようにしています。	・個室が多いので、死角が生まれやすい。職員の立ち位置や活動内容を工夫しながら、児童の様子や活動を確認していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	・各営業日の利用児童の数に応じてアルバイトの職員を配置するなどをして支援を手厚くしています。	・人員配置はできているが、送迎面や支援を充実させるためには増員が望ましい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・事業所が2階にあるため、ご利用者様には説明をさせていただいております。	・2階まで階段で上がる必要があるので、段差などにも配慮しながら支援を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・感染症対策として安全衛生にも努め、活動によっては広い部屋を使うなどをしています。	・個室が多く広々としたスペースではないが、個室を活かして刺激が少なく落ち着いた空間をつくっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・自分で選択して過ごせるようになっている。 ・特性や気持ちの切り替えができないときには個室に誘導し過ごしていただけるように配慮しています。	・個室が3つあり、特定の人の部屋だという認識があるため、そこを排除し誰でも使える部屋だと思ってもらえるようにしていきたいです。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・目標管理・成果シートを用いて自身の業務に目標を立て、それについて管理者と面談を行い、業務改善に努めている。 ・業務振り返りチェックシートを使って日々の業務に関しての振り返りを行っている。 ・事業計画及び事故防止をはじめとするリスクマネジメント、権利擁護等個別事項の両者について、隔週開催する管理職による運営会議、毎月開催する全職員参加の職員会議で定期的に振り返りを行い、達成状況を点検しています。	・目標管理・成果シートを用いているが、それを使って管理職の動きができていないので、聞き取ったことを管理職で共有し、職員のPDCAサイクルがスムーズに行えるようにしていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・集計結果がでた時点で内容等を職員に周知をしている。 ・保護者との面談や、保護者向け評価表等を活用し意向の把握に努めています。いただいたご意見やご意向は最大限尊重して改善に取り組んでいます。	・保護者からのご意見を反映できるように、日々職員間で話し合いをし進めていますが、全部が反映できていないところを含め、今後も常務改善に向けて進めていきたいです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・管理者との面談を行ったり、職員会議などで意見交換をしたりしている。 ・各々の業務の担当者で意見を出し合い、業務改善に努めています。	・日々の昼礼での会議でも、児童の話や業務についての話なども織り込み、再度確認し職員が個々に業務を遂行できるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・今後第三者からの外部評価を受けられるような体制を整えていきたいと考えています。	・第三者による外部評価は受審していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・オンライン研修も活用しながら研修に参加している。配信での研修もあるので、時間があるときに活用できている。 ・できる限り研修への参加ができるように職員配置等を考えていますが、受講日時などの都合で参加できない場合もあります。職員会議で参加した職員からの報告をして、全体周知をしています。	・いろんな研修へ出向き、個々のスキルアップに向けて、事業所全体の支援の質の向上になるように積極的に動いていきたいです。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・支援プログラムに基づいて、個別支援計画の作成をしています。また、その計画に沿った支援を行っています。	・今後公表をする予定にしております。

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・保護者と年2回面談をさせていただくほか、日々の連絡帳や電話連絡によりニーズ、課題を把握しております。 ・職員間で継続的に児童の状況を把握し、上記保護者のご意向も踏まえ、ケース会議で検討したうえでサービス計画を作成しています。	・個々のニーズを検討したうえで今後も卒後に向けた取り組みをしていきたく、新たな支援計画を作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・計画を作るときには支援者会議も行い児発管、保育士、児童指導員で話し合いをしている。その結果を支援計画にも反映させています。	・日々の支援の中でも共通理解を深めることで、さらなる利用者への支援の改善を目指していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0	・毎日支援前にはミーティングを行い、計画とその時の状況や環境や前回の様子など、共通認識で支援に向かえるように、情報共有をしてから支援に入っている。	・かわいさのあまりに、ついつい「まあいいか」という気持ちが出てしまうことがあり、日々の努力で成長を促していることを忘れずに支援にあたっていきたいです。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・児発管が日々の記録や支援者からの情報共有、保護者からの聞き取りなど様々な多角的な視点をもって、計画作成時のアセスメントをしています。	・現在、特定のアセスメントツールは使用していません。 ・今後、当事業所の児童にとって、最適なツールは何かを見極め、導入に向けた検討をしてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・今年度より、5領域を全利用者の支援内容に盛り込んで計画作成をしています。その他の家族支援や移行支援などは、家族の意向や年齢等に合わせて設定しています。	・将来を見据えた支援を通して、卒後の進路先を考えるために、日ごろから事業所見学を行い、様々な場所へ訪問をすることで、保護者の方への助言や情報提供ができると考えています。それらを支援内容にも取り入れ、具体的に必要なスキルを身につけられるような支援をしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・児発管・保育士・児童指導員での話し合いが日々行い職員間で相談をしながら立案して今増す。	・活動がマンネリ化して、取り組みがおろそかにならないよう、職員で支援内容の見直しや振り返りを行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・同じ活動名であっても内容を変えながら、子どもたちが様々な経験が出来るように工夫している。	・子どもたちがまだ経験したことのないことや、社会に出るまで経験してほしいことはたくさんあるので、今後も活動に組み込みながら更なる成長を促していきたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別活動では、自立課題や作業を、集団活動ではゲーム、クッキングなどを、時々の状況に応じて組み合わせて支援を行っています。これらはサービス計画に位置付けた目標達成のため活動となっています。	・今後も専門性を高めて個別活動と集団活動の充実を図り、より良いサービス提供ができるようにしていきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・昼礼で一人一人の前回の振り返りを行い、これを踏まえ、当日の支援での注意点や重点事項を伝えるようにしています。 ・これにより、職員間で各児童の支援の方向性、内容及びスケジュールが共有でき、一貫性のある支援につながっていると思います。	・今後も、児発管が中心となって保育士、児童指導員で支援の内容の確認や情報共有の場としていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	0	・支援後の記録をする際に、職員間で振り返りをしながら、次回の支援に向けての情報共有をしている。	・支援終了後にミーティングは行っていませんが、情報共有する必要のあることなどは、次の日の昼礼に振り返りを行い周知しています。 ・日々の支援中に気づいたことがあれば、その都度話をするようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援記録は支援計画に基づき、その実施状況を記載するようにしています。 ・加えて、日々の様子、自立課題や作業の実施結果も記録し支援の検証・改善につなげています。	・日々の記録を基に、支援内容の振り返りや改善策を考えることも必要だと思っています。職員間でも記録の方法に関しては統一して後に見返しやすいように努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・毎月ケース会議を行い、サービス計画の目標の進捗状況や取組が適切であったか、見直すべき点はないか確認しています。 ・この積み重ねをもとに、少なくとも半年に一回はモニタリングを行い、サービス計画の見直しを行っています。	・半年に一回のモニタリングをしているが、その間に話し合いを行っているため、必要に応じて対応していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	・４つの基本活動に加えて、独自に「卒後を見据えた支援」という5つ目を策定し、支援に織り交ぜている。	・但し、地域交流活動は、性質上土曜日又は長期休業期間中を中心に行っています。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・子どもたち自身が考える、決める、実践するなどができるように活動を考えて支援をしています。	・自己決定をする力を伸ばせる機会をさらに増やし、自らの判断する力を養えるような活動を取り入れていきたいと思います。 ・職員が利用者の自己決定をする機会を確保し、それが妨げられないよう努めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・主として児童発達支援管理責任者が参加しています。	・今後も児発管だけでなく、職員間で会議の内容や状況を把握できるようにしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・利用者を取り巻く様々な関係機関と連携が取れるように、相談員を主軸にしている。必要があれば関係者会議を行い、情報共有をしています。	・全利用者が関係者とつながり、連携が取れているわけではないので、今後は利用者全体が関係者とつながり、連携した体制がととのっていくようにしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・学校からのスクールメールに登録し、情報を得られるようにしている。 ・保護者からも下校時間や行事、実習などの連絡調整はしてもらえるようにお願いをしている。	・情報共有がよりスムーズとなるように、学校との連携を取り、連絡等に遅れがないようにしていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・中高生対応施設のため、小学部の時に在籍していた施設に情報共有をしてもらっている。	・小学部の時に在籍していた施設からの情報を共有してもらえるようにしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・卒業後の施設からの要望で支援会議を開くことが増えている。学齢期の様子など細かく引継ぎをし就労先の支援員がスムーズに支援に入れるように情報を提供している。	・次年度も就労事業所への見学を行い、事業所の様子・雰囲気・作業など見て学び、就労先の職員との情報共有をしてもらえるようにつなげていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	0	・発達障がい支援センター主催の研修に参加したり、事業所に講師をお招きして研修を受けたりしている。	・今後も研修に参加し、連携を図りながら必要に応じて助言をもらって支援をしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・平日は両方が学校帰りとあり、時間がないところです。地域の子供が参加しているイベントへの参加などしています。	・平日は時間帯が難しいと思われるため、長期休暇のところで計画を考えていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・松江市の協議会(障がい福祉専門分科会）の中に放課後等デイの代表が参加しており、そこに呼ばれることがあり毎回ではないが、参加している。	・松江市の放デイの代表者が松江市協議会に参加しており、そこからの情報をもらっています。引き続き情報を共有していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎、連絡帳、面談・ショートメールなどを通じて保護者への共通理解を図っている。 ・今後も保護者との共通理解を深め、日々の子どもたちの様子や変化についても情報共有をしていきたいと思います。	・日頃からの関係性が構築していますが、保護者が一番の理解者を認識をしてもらえるような言い方を都度考えていきたいです。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・保護者交流会や保護者研修の場を設けている。 ・夏休み期間に保護者参観日を開催し、日々の子どもの様子を見たり職員と話をしたりして情報共有をしている。	・年に2回の面談や連絡帳などで、年齢や性別に合わせた子どもの成長に必要な物や発達に対しての助言などを行っています。また、家庭での過ごし方・子供への声のかけ方・保護者の困りごとなどを聞き、職員間で情報共有して対応策を検討し、保護者へ伝えています。
保護	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・支援の内容については丁寧に説明させていただいていると思います。 ・利用者負担等については、契約時に説明をしています。	・運営規程や利用者負担金については、時間の都合上説明が不十分な点があると思います。今後は保護者研修の場等で説明することも行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・面談会を開催したり、意向調査書にご本人の意向・保護者の意向の欄を設けて両方の意向をお聞きしています。	・面談や意向調査だけでなく、日々の保護者との話からも様々なニーズを把握するとともに、本人の気持ちを聞くというところも増やしていきたいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0	・児発管が計画の説明を行い、保護者の同意を得られるような場を設けています。 保護者都合で直接的に説明ができない場合は、電話連絡等をしながら丁寧な説明と同意を得ている。	・引き続き支援内容をしっかり説明をしていきたいと考えています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・利用者によっては月に１回面談を行っている方もいる。他にも要望等があれば随時面談を行い、迅速な対応ができるように努めている。 ・保護者に常に寄り添いながら、解決方法を見つけれるように、関係機関と連携をとったりと、より良い支援へつながるように心がけています。面談や連絡帳・電話対応・訪問などいろいろな形で対応させていただいております。	・要望のところでまだ企画まで至っていないところがあるため、次年度は要望をかなえれるようにしていきたいです。

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・保護者交流の機会を設け、家族同士でも話ができるような場を作っています。	・きょうだいに対しては、面談や連絡等で障がいのあるきょうだいへの受容やかかわり方への支援を随時行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情解決担当者・責任者を配置し、また第三者委員を選任して、苦情解決体制を掲示、広報誌、口頭で案内しています。 ・さらに、苦情にはいたらないまでも保護者から要望やご意見をいただいたときは事業所内で共有するようしています。	・今後も苦情解決の研修に参加するなどをして、より質の高いサービス提供が行えるような事業所を目指していきたいと思います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・年に４回広報誌を発行している。 ・HPにも活動の写真を載せている。	・SNS等の活用に関しては現在検討中。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報保護の重要性は口頭で説明しています。	・今後個人情報保護マニュアルを作成し、徹底することを考えています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・子どもたちには、絵カードやスケジュールなど視覚的にわかりやすい方法をとっている。 ・保護者とは面談や電話連絡、メッセージなどを活用している。	・より意思の疎通や情報伝達がしやすい方法を模索し、迅速な対応ができるようにしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・定期的に事業所周辺の清掃を行っています。地域の高齢者の寄り合い場所として事業所を使用していただいています。	・今年度は新型コロナ感染等により実施できなかったので、感染状況を見計らいながら地域に根差した事業運営を行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・防犯マニュアル、感染症マニュアル及び非常災害時の対応マニュアルを作成しています。新型コロナ感染の業務継続計画も作成しています。	・今後は子どもや保護者に対して説明の機会を設けていきたいと考えています。また広報誌等でも訓練の様子や情報伝達の活用としたいと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・年2回避難誘導訓練を実施しています。	・今後は非常災害時の対応マニュアルを活用し訓練を行っていくとともに、万が一の場合でも早急な対応ができるように職員間でも情報交換をしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・保護者とのやり取りでてんかんや服薬に関しての重点事項や注意事項については話し合って情報共有をしています。	・職員間でも事前に確認をし、てんかん発作の利用者への対応も情報共有の基、対応をしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・利用開始に当たって、保護者からアレルギーに関する情報を確認し適切に対応しています。	・現在、食物アレルギーのある利用者はいないが、利用が始まる場合には、適切な情報を確認し、対応をしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・年2回、火災報知設備等の点検を外部委託している。その時に火災報知器などの使い方、通報訓練も実施している。	・引き続き児童の安全を優先にするため、点検をおこたらず、訓練も実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0	・安全確保の面では周知をしているが、しっかり理解をされてないかもしれないです。	・安全確保の面で、明確に災害時での避難の場所・連絡手段など周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・２週間に１回運営会議の称し、事故防止委員会を設置している。	・事故防止委員会の中でヒヤリハット報告書について検証改善策を協議し、職員会で事例の共有・改善策の徹底を図っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・外部研修、法人内研修に参加している。	・毎年度、法人の虐待防止研修をはじめ、研修や講習には積極的に参加し理解を深めています。 ・年２回、チェックシートにより各職員が自身の支援の状況を振り返る機会を設けています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束とは何かについて職員会議で説明し、理解を深めるようにしています。	・該当の児童がいないので特別な対応は行っていません。 ・但し、・身体拘束が予想されるような利用者がいた場合には計画に記載することとしている。